

【神戸市】
校務 DX 計画

1. 現状

本市では、教職員が使用する1台の端末でセキュリティを確保したうえで、校務系と学習系両方が利用できるようになっている。これにより、ファイル共有、チャット機能、オンライン会議や研修、教材共有、自動採点ソフトなど、多岐にわたる業務で教職員の負担軽減に取り組んでいる。

また、電話や紙媒体で行っていた学校とのやり取りに保護者連絡ツールを導入し、学校からのアンケート回答や児童生徒の出欠連絡などがペーパーレスでできるようになるなど、保護者の負担軽減にも努めている。

一方で、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」（令和6年3月29日公表）による本市の自己点検結果によると、一部の学校現場でFAXを使用していることや、保護者や外部とのやり取りで押印・署名が必要な書類が残っていることが課題となっている。

2. 今後の取組み

(1) 教職員と保護者間の連絡のデジタル化

欠席連絡や周知に加えて、各種書類も電子申請可能とし、手書きや印刷の手間を減らす。

(2) ダッシュボードの検討

教育関連データの収集・分析・加工による分かりやすい表示を行うダッシュボード機能について検討を行う。

(3) FAX 廃止の検討

令和7年度までに学校でのFAX利用を原則廃止する国の方針に則って、メール等への変更を促進していく。